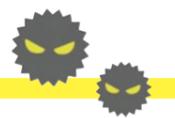


検査科からの紹介



PCRはご存じですか？



今年に入り世界的に問題となっている新型コロナウイルス感染症ですが、日々の報道の中でPCR(ピーシーアール)検査という言葉をよくお聞きになると思います。でも、「PCRってなに?」と思われる方も多いのではないのでしょうか。では簡単にご説明したいと思います。

PCRとは、**p**olymerase **c**hain **r**eaction (ポリメラーゼ連鎖反応)の頭文字を取ったもので、ウイルスの中の遺伝子(DNAやRNA)を増やす連鎖反応のことで、そのウイルスの遺伝子の特徴的な部分に反応する試薬を使ってウイルスの遺伝子をコピーして膨大に増やします(ウイルス

が増殖するわけではありません)。遺伝子が増えればウイルス陽性と判定され、もともとウイルスがいなければコピーする物がないので陰性になります。

今話題のPCR検査は新型コロナウイルス専用の検査だと思われている方も多いと思いますが、試薬を変えることによって色々なウイルスを検出することが出来ます。ただし、PCR検査は精密な検査で特別な機械と設備が必要になるため、全ての医療機関で出来るわけではありません。

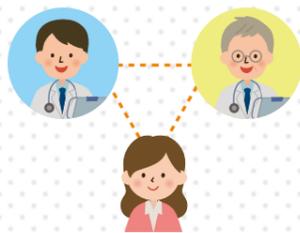
一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、安心して暮らせる日がくるといいですね。

患者様の権利と義務

セカンドオピニオン外来について

“セカンドオピニオン”とは、「第2の意見」とも言われています。治療を受けている病院や診療所の主治医との良好な関係を保ちながら、他の専門医に自分の病気についての意見を求め、参考にすることを言います。患者さんやご家族にとってどの治療方法が良いのか、選択していただくことができます。より良い治療方法を自己決定するために多くの医療機関で行われています。

当院のセカンドオピニオン外来を希望される方、または他の医療機関でのセカンドオピニオンを希望される方はお申し出下さい。



▶そのため次のような場合に有効です

現在の診断・治療法に不安を感じる時や、外科的な治療法と内科的な治療法で迷っている時、または大きな外科的手術を受けるよう勧められた時などに有効です。

▶セカンドオピニオンの対象となる方は

原則として患者様ご本人、または患者様本人の同意を得たご家族の方です。(指定の同意書が必要)

▶料金は、全額自費払いとなります。

1件につき(概ね30分)..... 10,000円(税抜)

30分を超えた延長料金..... 3,000円(税抜)

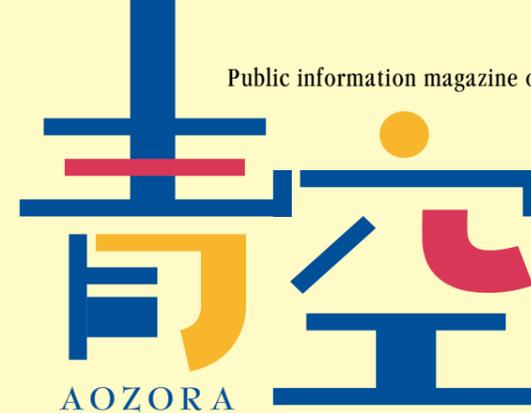
自分の治療法について、他の病院の医師に情報を得ることは大切なことです。患者さん自身にとって治療法の選択肢が増えます。



*また、ご相談の内容によってはお受けできない場合もございますので下記までご相談ください。

お問い合わせ

広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院
地域医療連携室 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時まで
〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666
電話 0826-42-0636(代表) Fax 0826-47-0050(直通)



やさしい心で
良質な医療を

夏号

vol.67



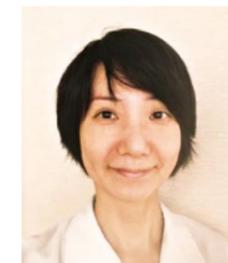
発行/広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院
〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666
Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007
2020年(令和2年)8月発行
http://yoshida-gene-hospi.jp/

Facebookを開いています



人生100年時代を、自分らしく過ごせるようにサポートします

健康管理課 安東 明子



健康管理課は、1998年に開設され、人間ドック・生活習慣病予防健診・職場の定期健診等、年間約8,000件の健診を実施しています。

人間ドックでは、肺レントゲン、胃バリウム(胃カメラ)、心電図、腹部超音波検査、肺機能検査、聴力、眼底、血液、尿検査のほか、希望すればオプション検査として、低線量肺CT、脳MRI、MRA、子宮頸がん検診、マンモグラフィー検査、頸動脈超音波、血圧脈波(血管年齢)、骨密度測定、ピロリ菌検査、アレルギー検査等を受けることができます。

健診は、受けたら終わりではありません。異常が見つかった場合は、①精密検査を受け必要な治療を受ける。②治療は必要ではないが、定期的な検査が必要なかの確認をすることまでが健診です。

今、私が問題と思うことは、便潜血陽性の方の精密検査を受ける割合が低いことです。平成30年に当院の健康管理課で5,983人の方が便検査をされ、うち308人が便潜血陽性でした。しかし、大腸カメラ等の

精密検査を受けた方は、159人で、そのうちの7人に大腸がんが見つっています。149人の方は、精密検査を受けていません。

便潜血陽性の方が精密検査を受ける割合を「精検受診率」といい、精検受診率は51.6%。約半数の方が必要な検査を受けていないのです。全国平均と比較しても当院は精査受診率が18%も低いといえます。大腸がんは、最近増加しており男性では、胃がんの次に多く、女性では乳がんの次に多いがんで、平成29年広島県では、3,576人が大腸がん罹患されています。健診など早期で見つかったがんは、大きさによっては大腸カメラで切除することも可能です。早期に見つけて治療する方が、身体的にも侵襲が少なく済み、5年生存率も高いことがわかっています。

私たちは、健診結果や生活スタイル、健康観等により、その人らしく人生を送るためにはどうすればいいのかを受診者と一緒に考え、今日からできることを具体的な生活レベルで提案しています。また、健診の結果、必

要な精密検査を受けていない方を対象に受診するように促したり、精密検査の結果を把握し、次年度からの健診に役立てられるように管理することも大事な役割だと思っています。

健診で異常が見つかった場合は、吉田総合病院で精密検査や治療が受けられます。また、受診の結果ご希望があれば、三次中央病院や安佐市民病院など院外へのご紹介も行っております。このように吉田総合病院 健康管理課では、健診→精密検査→治療→健診後のフォローアップまでを、院内外の他部署と協力して安心して受けて頂く体制を整えています。

人生100年時代といわれる現代において、健康寿命を延ばし、元気に自分らしく生活していくためにも、吉田総合病院 健康管理課を安心してご利用ください。



新型コロナウイルス感染症について

感染防止対策室 感染管理認定看護師 田中 千苗

2019年12月、中国で見つかった新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)は、世界に拡大し、日本国内では1月16日に初めて感染が報告されてから20,000人を超える感染者数と、1,000人を超える死者数が報告されています(7月現在)。新型コロナウイルスの世界的な流行に伴い、4月7日に全国に緊急事態宣言が発令され、1か月半に及ぶ自粛生活で感染の流行が減少し、5月25日には全面解除となりました。また、隣市では4月に介護施設におけるクラスターが発生し、医療・介護の現場は大変な混乱が生じました。

新型コロナウイルスの感染経路は、飛沫感染・接触感染が主体で、潜伏期間は1~14日間、発症2日前から発症後6日頃が感染力が最も高いと考えられています。発熱や風邪のような症状がみられ、8割の方は自然に軽快しますが、一部の方は重症化し、高齢者や基礎疾患のある方は死亡率が高いことが分かっています。

当院においては、新型コロナウイルス感染対策として、3月から帰国者・接触者外来を整備し、感染が疑われる患者の診察や、新型コロナウイルス感染を疑う患者に対する診断目的のためのPCR検査を実施しています。6月までは、安芸高田市内での感染の発生はありませんが、隣市のクラスター発生を受けて、面会禁止(面会許可証の携帯)、発熱患者のトリアージ、南館玄関と東側出入口の閉鎖など様々な対策を強化しました。また、外来各科の窓口や医事課のカウンターには、飛沫予防のビニールカーテンを取り付けたり、職員が一斉に1階フロアの環境清掃を行うなど、感染対策を強化しました。



▲ビニールカーテンを取り付けた受付

院内には、住元病院長を委員長とする新型コロナウイルス感染症特別対策委員会を設置し、外来・入院診療、物流管理、労務管理などの対策班を作り、発生段階に応じた診療が継続できるよう対策を検討しています。今後、第2波、第3波が発生するような事態が起これば、再度対策を強化する必要があるため、今後に備えた対策を検討しています。

新型コロナウイルス感染対策は、「手洗い」、「咳エチケット」が基本です。特に医療機関に来院の際には、「マスク」の着用をお願いします。厚生労働省が提示している新型コロナウイルスの感染拡大を予防するための「新しい生活様式」を日常生活の中で取り入れていながら、感染が広がらない工夫を考えて実行していきましょう。



▲PCR検査の準備をする医師と看護師



▲面会禁止を知らせる玄関の看板



多くの方からのご支援に感謝いたします

新型コロナウイルス感染症に関連して、マスク等物資の品薄状態が続いている中、多くの企業・団体や個人の方からご支援をいただいております。このようなご厚意に対しまして感謝申し上げますとともに、ご寄付いただいた物資は、職員の感染予防のために大切に使用させていただきます。

これからも安心・安全な医療を提供できるよう職員一丸となって努めてまいります。



▲JA広島北部 共済連からのマスクの贈呈式



▲病院長より感謝状の贈呈



▲あせひらヨーグルトを手に感謝の気持ちでポーズのスタッフ

●支援企業・団体一覧

※非常に多くの方々からご支援をいただいておりますため、個人名の掲載は控えさせていただきます。

寄贈月日	企業・団体名	寄付・寄贈品	数量	寄贈月日	企業・団体名	寄付・寄贈品	数量
3月10日	安芸高田市医師会	サージカルマスク	1,800枚	5月12日	広島北部農業協同組合 全国共済農業協同組合連合会広島県本部	サージカルマスク	10,000枚
		N95マスク	20枚			サージカルマスク	1,000枚
		防護キット	1キット			5月14日	安芸高田市
3月23日	安芸高田市医師会	N95マスク	80枚	5月20日	有限会社宮田葬祭	サージカルマスク	1,000枚
		防護キット	10キット	5月26日	安芸高田市医師会	フェイスガード	100枚
4月17日	安芸高田市	サージカルマスク	400枚	5月28日	安芸高田市	サージカルマスク	150枚
4月30日	あせひら乳業株式会社 みよし高原牧場株式会社 ファーマーズホールディングス株式会社			6月3日	高美園	プラスチックガウン	200枚
		ドリンクヨーグルト	2,370本	6月5日	織田産業株式会社	サージカルマスク	1,000枚
				6月5日	広厚労尾道支部	サージカルマスク	300枚

令和元年度 院内ボランティア感謝状及び記念品の贈呈

院内ボランティアに永年にわたり参加していただいた退会者に感謝状及び記念品の贈呈を行いました。当院の医療・福祉の発展に関し、ボランティアの趣旨をよく理解し、患者さんに寄り添い、従業員のよい手本となって下さいました。中には、発足当初から17年にわたり、活動して下さった方もいらっ

しゃいました。

当院が、地域の皆様方から支えられ、地域と繋がっていただけるのも、このような活動に参加される方々が「架け橋」になってくださるおかげであると、改めて感じる日となりました。心からの感謝を申し上げます。



病院ボランティア募集

院内でボランティアとして活動していただける方を募集しています。みなさまのご応募をお待ちしております。

活動内容 外来患者さんへの支援(玄関での車の乗降のお手伝い、外来の車椅子等の移動時のお手伝いなど) 病棟での、タオルたたみ・シーツ交換。認知症患者さんの対話支援。

活動時間 月~金曜日、8時30分~11時30分の都合の良い曜日と時間